

生物多様性神戸プラン一部見直しに向けた庁内アンケート結果

「生物多様性神戸プラン」を総合的かつ円滑に実行していくにあたり、全庁的な対応を図るため、神戸市地球環境保全推進本部のもとに生物多様性部会を設立している。同部会は、生物多様性神戸プランの「市の行動計画」を所管する部署で構成している。

生物多様性神戸プランの一部見直しに向けて、部会員に対して実施したアンケート及び主な意見等を取りまとめた。

1. 行動計画（市の取り組み）について（生物多様性神戸プラン P41,42,47,53,54,58,59,63,）

現状と相違する取り組みがある	3
新たに追加するべき取り組みがある	0
現行の行動計画で良い	19
わからない	3
その他の意見	4

（複数選択の回答もあった。）

<主な意見等>

- ・『基本戦略1「場をまもる・つくる」⑤地球温暖化問題に対する対応』は、急務である。
- ・『基本戦略4「恵みを持続的に活用する」②環境保全型農水産業の推進』の冬期湛水の「モデル事業」については、成果を取りまとめ、取り組みは終了している。

2. リーディングプロジェクトについて（生物多様性神戸プラン P66～74）

現状と相違するリーディングプロジェクトがある	1
新たに追加するべきリーディングプロジェクトがある	1
現行のリーディングプロジェクトで良い	15
わからない	7
その他の意見	2

<主な意見等>

- ・地球温暖化による生物多様性への影響の理解促進、市民への生物調査結果情報の提供等、温暖化対策の啓発・実行の取り組みを追加するべきである。

3. 進行管理に用いる数値指標・目標について（生物多様性神戸プラン P78）

数値指標・目標として適切でない項目がある	1
新たに追加すべき数値指標・目標がある	0
現行の数値指標・目標が良い	15
わからない	8
その他の意見	2

<主な意見等>

- ・目標達成の実現性を精査し、目標値を設定した方が良いのではないか。

4. 生物多様性神戸プラン全般についての意見

- ・行動計画面では海岸、海浜に対する取り組みが少ないと感じる。
- ・担い手の育成、ネットワーク化という人的支援の側面が重要と思う。
- ・生物多様性神戸プランの実効性には、人、予算、地域の活力等が必要だが、現状では難しい面もある。